

2019

レース結果報告書

全日本選手権 第6戦 岡山国際サーキット



DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング

レース

Race

後半戦のスタートは岡山国際サーキットです。豊島と谷本はアジア選手権以来約2か月ぶりのレースとなりました。アジア選手権で刺激を受けた豊島は戦う姿勢が強く前面に出てきたように感じ、走り込みに重点を置いて苦手だった岡山を攻略していました。谷本もマシンハンドを走りで乗り越える果敢な走りを見せてくれました。そして久々のレースを喜ぶ二人はレースでも力を出し切る走りで見事成長を見る事が出来たレースウイークでした。

そのレース結果をご報告いたします。

名トンベイ：全日本選手権 第6戦 岡山国際サーキット大会

開催日：2019年8月30～9月1日

観客動員数：7600

レース結果： GP2 #31 豊島 怜 予選 8位 決勝 リタイヤ
JP250 #6 谷本音虹郎 予選 2位(2位) 決勝 5位(10位)

WEBリザルト：

http://www.mfj.or.jp/user/contents/race_result2019/road_race/2019result/rd06/gp2_standing.html



決勝・JP250

Race

JP250決勝は厳しい結果となりました。雨の予報から一転ドライコンディションでのレースとなった決勝は土曜日の最後に開催されました。最前列からスタート良く飛び出した谷本はオープニングラップに一時トップに立ちましたがストレートで抜き返される厳しい展開。実はサイティングラップから帰ってきた時に電気系にエラーが出ていて、リセットしたものの心配の中でのスタートでしたが、2周目からトラブルが出てしまい、谷本には厳しいレースをさせてしまいました。

谷本はズルズルとポジションを落としてしまうかと思いましたが、マシンが本調子じゃなくても諦める事なく攻め続けていました！多分コーナーでは一番の走りだったと思います。順位を落としてもすぐに挽回して粘り強く走りきりクラス5位(総合10位)を獲得。

レースを終えて帰ってきた谷本は、悔しさから暫くの間ヘルメットを脱ぐことが出来ませんでした。悔しさをすでに次戦オートポリスに向かっています！

谷本コメント

「予選はうまくスリップ使うことができ初フロントローを獲得することができました。決勝はスタートが決まり一度はトップに立ったのですが、マシントラブルが出てしまい順位を落としてしまいました。悔しい結果になりましたが今回のレースでたくさんのご支持が得ることができました。チーム並びに関係者の皆様ありがとうございました。

次戦のオートポリスも頑張ります！」



決勝・GP2

Race

GP2の決勝は朝から不安定な空模様。11時スタートの決勝も直前に雨が降り出しレインタイヤでコースインしますがグリッドに着く頃には雨が上がり路面はドライに。ドライタイヤに交換してスタートした豊島はオープニングラップを8番手で通過。しかし再び雨が降り出しトップを走る作本選手が1コーナーで転倒。なんと豊島も続くように1コーナーで転倒してしまふ。幸いライダー&マシン共に軽傷だった為ピットに戻って来る事が出来ました。タイヤをレインタイヤに交換して壊れた部品の交換。再スタートまで僅かな時間でしたがメカニック達が頑張っってしっかり修復完了。仕切り直しの決勝。スタートで僅かに出遅れて11番手付近までポジションを落としてしまいましたが各コーナーで前車を抜きまくってオープニングラップを6番手で通過。前を走るのはチャンピオン争いを展開している作本選手と名越選手との4番手争い。この二人を激しくプッシュする豊島ですがなかなか前に出る事が出来ません。ストレート勝負では前に出るのは厳しいと読んだ豊島は更にスロットルをワイドオープン！限界一杯まで攻めましたが6周目の2コーナー立ち上がりでハイサイドを喫してしまい転倒！ライダーに怪我は無かったのですが、マシンは左右のハンドルが折れてしまい再スタートを切る事が出来ず悔しいリタイヤとなってしまいました。

豊島コメント

「予選では自己ベストを更新したものの8番手。決勝は得意な雨。1周目からポジションを上げる事が出来たのですが4番手争いの中、2コーナーでハイサイド転倒してしまいました。初めて表彰台が見える位置でのレースでした。雨には自信があったので本当に悔しいです。でも勝負をした結果です。全て今後の糧にします。幸い怪我も無く、夏の間メカの上野さんとセッティングについて1から考え直した甲斐もあり、ドライでもテストから上り調子でタイムアップしていったのでしっかり反省して次戦また頑張ります。チームをはじめ、スポンサー様、応援してくださっている皆様ありがとうございました。」



コメント

Ofisyaru Comment

谷本は予選までにマシンもライダーも仕上がっていて決勝が楽しみだったのですが厳しいレースになってしまい申し訳ない思いです。その中でも谷本の粘り強い走りとガッツを見ることが出来て収穫の多いレースでした。R25で出来る最高のコーナーリングを存分に見せてくれた谷本の走りが、残り2戦のテクニカルコース(AP・鈴鹿)で力を発揮してくれると思います。

豊島も今回は上位入賞の可能性もあっただけに本人にとっては非常に悔しいレースだったようですが、限界まで攻め、限界を超えることで限界を知り、上位ライダーとの差や技術不足を学ぶ良い経験だったと思います。学習中の豊島はランキングよりも大切なものが有ります。あのポジションで守りに入ってチェッカーを受けても成長には繋がりませんから、今回の転倒は非常に前向きに捉えています！

今回は二人とも結果以上に成長出来たレースだったと思います。次戦はアップダウンの激しいオートポリスサーキットですが、今回のレースで得たものをぶつけて行きたいと思います。ご支援ご声援頂きました皆様、引き続き豊島怜、谷本音虹郎を宜しくお願い致します。

JP250動画(21分スタートです)

<https://www.youtube.com/watch?v=erPbBZNKXK8>

GP2動画(赤旗中断後の第2ヒートは39分から)

<https://www.youtube.com/watch?v=4TyLRkNBXP8>

ドッグファイトレーシング
室井秀明

スポンサー

Sponsor

Sponsor



竹中興運

Nakano Co., Ltd.



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。次戦も頑張ります！

